

普及現地情報



発信年月日：令和4年（2022年）7月29日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C22011
部門分類：170（花き）
発信者名：村木

新規就農者、中輪ギク初出荷

キク生産を主体に今年から就農された甲賀市の認定新規就農者H氏の中輪ギクの収穫と出荷が最盛期を迎えています。

H氏はキクの栽培に関心があり、令和2年に当課に就農相談に来られました。当課からのキク栽培や経営に関する説明を聞かれキクでの就農を決め、令和3年度の1年間、農業大学校就農科で技術と知識を学ばれました。

農業大学校での研修期間中も就農計画の作成や定植に向けた準備などについて助言し、今春の経営開始に向けた支援を行ってきました。

経営開始後は、現地指導や県内先進農家への引率などにより栽培技術の習得を支援し、7月15日、待ちに待った初出荷となりました。出荷に際しては出荷先となる花き卸売市場担当者に切り花サンプルの講評を受け、品質、選別ともに問題無いとの評価を得たことで、自信を持って出荷することができています。

7月下旬、収穫と出荷は最盛期を迎え、お盆までに11,000本の出荷を計画しています。

盆前需要期の出荷が終わった後は、12月の出荷に向けた中輪ギクの栽培が始まります。当課は、関係機関と連携し、秋冬作についても確実な収穫と出荷につながるよう、引き続き支援を行っていきます。



収穫の様子



収穫した中輪ギク「精の颯」